

2020年12月22日

京成電鉄株式会社

## さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施しました

当社で発生した重大事象をふり返り、異常時対応を再確認

**2020年12月22日(火) 9時00分～ @京成電鉄 宗吾車両基地**

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、12月22日(火)に京成電鉄 宗吾車両基地(千葉県酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日(木)から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したものです。多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上を図ることを目的として、毎年この時期に実施しています。

今回は、当社でこれまでに発生した重大な事象(列車脱線、保安装置故障)を想定し、お客様の避難誘導を含む異常時対応を再確認するとともに、2019年の台風被害を振り返り、今後予想される大規模な水害への対応力の向上を図るため、①台風による飛来物の巻き込みによる列車脱線、②信号機故障による駅間停車列車の発生とお客様の避難誘導、ならびに③荒川の水位上昇による越水、氾濫防止のための水防活動といった訓練を行いました。

訓練は総勢162名が参加して行われ、障がいをお持ちのお客様・お怪我をされたお客様を含めお客様の避難誘導や、当社内関係部門間および協力会社との連携などを確認しました。

本件の詳細は次項の通りです。



訓練の様子(左:脱線の復旧作業 右:軌道の復旧作業)

## 異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2020年12月22日(火) 9時00分～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地(印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1)
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員 合計162名
4. 訓練概要 (1)想定
  - ①上野隧道入口付近を走行中の列車が突風による飛来物を巻き込み、乗り上げて脱線。お客様2名が負傷・視覚障がいのあるお客様1名がご乗車。
  - ②①を受け、運転見合わせのため各駅に、運行中の列車を収容する指示を出したところ、信号トラブルにより千住大橋駅手前に駅間停車の列車が発生。
  - ③台風の影響で荒川の水位が上昇し、数時間以内に本線荒川橋梁軌道上への土のう設置が必要となる水位に達する見込み。(2)内容
  - ①災害対策本部・現地対策本部の設置と関係各所との連携
  - ②災害現場2か所と対策本部との情報伝達
  - ③列車防護、連絡通報、旅客の誘導案内
  - ④駅間停車列車の救済
  - ⑤事故現場における復旧作業

以 上